

真理を求め努力を惜しまぬ生徒 互いを認め合う思いやりのある生徒 心身ともに健康で責任を果たす生徒



浜頓別町立浜頓別中学校
学校だより 第7号
R7年10月 3日発行
文責・編集・発行：教頭

おわりハジマリ

さて、令和7年度（2025年度）も半年が過ぎました。あと半年もすれば、親元を離れる生徒がいるかもしれません。学年が上がり、新しいことにチャレンジする生徒がいるかもしれません。前期がおわり、後期がハジマリます。後期は、卒業式まで大きな学校行事はありません。次のステージへジャンプするためにも、日々を丁寧に、時には大胆に過ごしてほしいと思います。

唯一無二のパフォーマンス



避難訓練

9月24日には、1日防災学校の一環で、全校で避難訓練を行いました。今回は、ランチルームからの出火を想定した避難訓練で、駐車場へ避難をしました。2分45秒で避難完了するなど、すばやく避難することができました。



漁港見学

1年生は、総合的な学習の時間の学習で、頓別漁港の見学に行きました。保管庫の中を見たり、乗船体験をしたり、普段はできない体験をしました。



～半導体関連産業に係る複合拠点化事業～

10月15日（水）には、標記事業に関する体験教室が2年生を対象に行われます。当日は、旭川工業高等専門学校准教授である松原英一様を講師にお迎えし、体験を通じて、半導体に対する理解を深めるような学習を予定しております。報道関係者も入る予定になっていることをあらかじめご了承願います。

<全国学力学習状況調査の結果について>
今年度の全国学力学習状況調査の結果から、以下の点を課題と捉え、教育活動の改善に生かします。

① 基本的な知識・技能

⇒取り組む問題等の量を調整します。

② 要点を押さえ、問題文を読み取る力

⇒教科書や問題文を読み取り、要点を押さえられているか確認します。

③ 自分の思いや考えを文章で表す力

⇒自分の思いや考えを文章で表現する活動を効果的に増やします。



～民生委員さん来校～

9月12日（金）には、浜頓別町民生委員のみなさんが来校されました。

1年生の技術、2年生の理科、3年生の書写の授業を参観しました。

『表裏一体』

校長 明石 貴宣

先日の学校祭には、多数の皆様にご来場いただき、誠にありがとうございました。生徒一人一人の「自分らしさ」を発揮したパフォーマンスをご覧いただき、お楽しみいただけたのではないのでしょうか。また、ステージ上の仲間に声援を送り、共に盛り上がる姿から、本校が目指している「安心して挑戦できる環境作り」が伝わったのであれば幸いです。

さて、学校行事などで発揮される協調性や積極性、粘り強さや熱意、アイデアや工夫、コミュニケーション力などの能力は数値での測定が難しく、「非認知能力」と呼ばれ、近年重視される傾向にあります。一方、計算力や語学力といったテストなどによって数値化することができる能力は「認知能力」と呼ばれます。両者はお互いに作用し合って影響を与えるものとされています。例えば、粘り強さや熱意を持って取り組むことで計算力の向上に影響が出たり、逆に語学力や学習で得た知識によってコミュニケーションが充実したりするといったことです。だからこそ行事で得た成果は、自分の学習や各教科の授業に生かしてほしいと、生徒にも伝えています。あの熱意で学習できたら、きっと素敵な未来につながります。また、授業で身に付けていく知識や技能によって、来年の学校祭や高校生活はもっと充実するはずです。

本日で前期を終え、担任から通知表を手渡しました。数値化される各教科の評定とともに数値化されない評価は文章で記述されています。ぜひともご一読いただくとともに、家族の会話を広げていただけたら、と思っております。今年度も残り半期となります。今後ともよろしくお願いいたします。